

平成22年度 学校経営計画に対する最終評価報告書

石川県立七尾特別支援学校珠洲分校

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析（成果と課題）及び次年度の扱い（改善策等）
1 授業研究や校内研修等の実施をとおしての教員の専門性向上と授業改善の推進	① 授業案検討会、研究授業、授業整理会の持ち方を見直し、改善・工夫し実践することで、個々の教師の授業力の向上と専門性の向上を図る。	授業研究が今後の自分の授業に活かせる内容であると  A：十分感じた B：おおむね感じた C：あまり感じなかった D：ほとんど感じなかった	アンケート調査の結果は A：29% B：71% C：0% D：0%  評価 B	・授業研究を小学部が4回と中学部が2回と高等部2回行った。今年度は、多数の教職員が参観でき、授業整理会ではKJ法を用い全員が発言できるようになり、活発な意見交換ができた。また、七尾本校の研究会に研究推進委員が中心となって参加し授業の見直しを図ることができた。 ・次年度は、地域の特別支援学級設置校にも案内を出し、外部講師を招いての指導力向上研究会を2回実施する予定である。
	② 障害特性の理解や支援・指導方法についての研修会を行い、教員の専門性向上を図る。	障害特性の理解に関する研修会を  A：年4回以上実施 B：年3回実施 C：年2回以下実施 D：実施しなかった	障害特性の理解に関する研修会を3回実施  評価 B	・全校児童生徒を対象とした児童生徒理解研修を4月に3回に分けて実施し、職員の共通理解を図ることができた。また、8月に自閉症の理解をテーマとした研修を2回実施し、応用行動分析の視点から生徒の行動上の問題について取るべき支援についても検討した。 ・3月中に、アセスメントの結果を児童生徒への指導や支援に反映させるための研修を行う予定である。
		教師の専門性に十分満足している保護者の割合が  A：85%以上 B：75%以上85%未満 C：65%以上75%未満 D：65%未満	アンケート調査の結果は 十分満足：40% 概ね満足：48% やや不満：12% 不満：0% 評価 D	・教師の専門性に十分満足している保護者を部毎に見ると、小学部56%、中学部38%、高等部25%であった。また、授業に十分満足している保護者を部毎に見ると、小学部89%、中学部50%、高等部50%であった。 ・教師の専門性に十分満足と概ね満足と合わせると88%、授業に十分満足と概ね満足と合わせると96%であり、いずれもやや不満以下の保護者の割合は低かった。 ・目標が高過ぎたと思われるが、次年度も授業研究と研修会の開催を通して教師の専門性向上に努めていきたい。
学校関係者評価委員会の評価	・個々の教師の授業力の向上と専門性の向上を図るために、小学校では研究授業を一人2回は行っている。中学校でも一人1回以上実施している。授業研究を通して、お互いに気づいたことを指摘し合うことは大切である。 ・特別支援学級については、毎年交代で担当していることもあり、担任は障害のある子の指導を迷い迷いやっている。 ・珠洲分校の小学部の先生方は授業を一生懸命考えてくれてありがたい。			
学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善方針	・来年度は秋に県特研能登大会があるので、珠洲市と能登町の特別支援学級担当者にも案内を出して、外部講師（大学の准教授）を活用した指導力向上を目指す取組を実施する。また、夏季休業中に珠洲分校の教師が講師を務めて研修会や指導案検討会などの合同学習会を開催し、能登北部地域全体の特別支援教育に関わる教師の授業力の向上と専門性の向上を図る。 ・来年度は、日曜日にも1回は授業参観を実施するとともに、珠洲分校の教師が講師を務める保護者を対象とした学習会の実施も検討したい。			
2 地域の資源を活用した計画的な教育活動ならびに地域との交流活動の推進	① 地域の高齢者団体「ほのぼの会」と定期的に多様な活動と一緒にを行い、交流する。	「ほのぼの会」との交流の実施回数は  A：5回以上 B：4回 C：3回 D：2回以下	4回実施  評価 B	・交流会を5月（運動会）、10月（分校祭）、12月、2月と計4回実施した。交流を楽しみにしている会員が多い。会員からは体操やゲームを教わったり、児童からはプレゼントを渡したり、節分のゲームをしたり、歌等を披露した。回を重ねる毎に交流が深まってきている。次年度もほのぼの会の方々から交流を期待する声が多く、今後も定期的に実施していきたい。

<p>地域の資源を活用した計画的な教育活動ならびに地域との交流活動の推進</p>	<p>② 地域の方々とグラウンドゴルフ等とおしての交流を行う。</p>	<p>グラウンドゴルフ等とおしての交流の実施回数は A：3回以上 B：2回 C：1回 D：実施しなかった</p>	<p>グラウンドゴルフを 2回実施  評価 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 珠洲市グラウンドゴルフ協会の協力を得て、10月中旬までに2回実施することができた。事前に体育の授業で練習したこともあり、生徒達はたまかなルールを理解して一緒に楽しむことができた。</li> <li>・ 交流後もグラウンドゴルフを楽しんでいる生徒の姿が見られ、卒業後の余暇にもつながるので、次年度も珠洲市グラウンドゴルフ協会の協力を得ながら交流を行っていきたい。</li> </ul>
<p>学校関係者評価委員会の評価</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ほのぼの会」との交流については、お年寄りの方たちはとても喜んでいるので、交流の回数を増やしてもよい。</li> <li>・ 公民館の行事は土・日が多いので平日の交流は難しい。しかし、町の先生として指導者を派遣することは可能なので、学校の授業の中での活用することは考えられる。</li> </ul>		
<p>学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善方策</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来年度も小学部だけではなく、中・高等部も今年度初めて実施したような紙芝居の会などを通して、「ほのぼの会」と交流する。</li> <li>・ 来年度は「すす分校祭」の日を三崎公民館と三崎中学校の文化祭の前日の土曜日に実施する。また、日曜日は高等部が三崎公民館前で販売実習をさせていただき、三崎地区の方々と交流を行うとともに、三崎中学校の文化祭の参観を通して、三崎中学校との交流も深めたい。</li> </ul>		
<p>3 キャリア教育の推進と進路指導の充実</p>	<p>① 長期的展望にたち、関係機関と連携して珠洲市、能登町、輪島市での職場実習及び職場開拓を行う。</p>	<p>新たに開拓した実習協力企業は A：3社以上 B：2社 C：1社 D：0社</p>	<p>新たに開拓した実習協力企業 3カ所  評価 A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輪島市では社会福祉法人「みやび」、珠洲市では「JAすずし」、(株)ビクトリーの3箇所が職場実習生の受け入れを承諾してくださった。また、「みやび」は就労についても検討するとの回答をいただいた。</li> </ul>
<p>② 児童生徒の実態及び保護者のニーズに応じた中・高親子施設見学や進路研修会の内容を工夫し、進路指導の充実を図る。</p>	<p>中・高親子施設見学や進路研修会の内容に A：8割以上が満足 B：7割以上8割未満が満足 C：6割以上7割未満が満足 D：6割未満が満足</p>	<p>十分満足 39% 概ね満足 57% やや不満 4% 不満 0%  評価 A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中・高等部親子施設見学では能登町の「礎会」と輪島市の「あすなる作業所」の2カ所を見学した。保護者16名の内14名が参加し、アンケート結果では9割以上が満足であった。</li> <li>・ 12月に行った進路研修会は18名が参加した。アンケート結果は9割以上が概ね満足できるものであった。</li> </ul>	
<p>③ 部・学級だよりや連絡帳、保護者懇談等とおして、保護者の協力を得ながら、家庭でお手伝いをする児童生徒の割合を高める。</p>	<p>家庭でお手伝いをする児童生徒の割合が A：7割以上 B：6割以上7割未満 C：5割以上6割未満 D：5割未満</p>	<p>毎日お手伝いをしている 64%  していない 36%  評価 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連絡帳、保護者懇談、家庭訪問等とおして、保護者の協力を得ながら、家庭でお手伝いをするよう働きかけた。特に冬季休業中にはお手伝いシートを活用してのお手伝い向上期間の取り組みを実施した結果、毎日お手伝いをしている児童生徒の割合は小学部44%、中学部88%、高等部63%、全体では64%という結果で、年間を通して、徐々に家庭でのお手伝いをする児童生徒の割合も向上した。家庭でのお手伝いは将来の就労にも結びつくと思われるので、今後も保護者の協力を得ながら取り組みを進めていきたい。</li> </ul>	
<p>学校関係者評価委員会の評価</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場実習に関しては、子どもの実態や地域環境によって違う面があるが、今後も実習協力企業の開拓に努めて高等部の2年と3年で違う所で実習をさせてみてもよいのではないかと。卒業後の就労に関して少しでも可能性が広がるとよい。</li> <li>・ 今年度は育友会の視察研修に参加する予定だったが、子どもが風邪をひいて参加できず残念だった。小学部には親子施設見学がないが、いろんな所を見てみたいので、育友会の視察研修を年2回実施したり、小学部の親が参加できる施設見学があるとありがたい。</li> </ul>		
<p>学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善方策</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の特性や地域環境によっては難しい面があるが、来年度は今年度新たに開拓した実習協力企業も含めた所での職場実習を実施するとともに、ハローワークの協力を得ながら、高等部の2年と3年で違う所で実習を経験できるように努める。</li> <li>・ 育友会の視察研修を年2回実施するのは予算面で難しいので、特別支援学校振興会の予算で小学部親子施設見学を隔年実施する方向で検討したい。</li> </ul>		

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析（成果と課題）及び次年度の扱い（改善策等）															
4. 授業や校務等にICTを活用する能力を高める取り組みの推進	① ワードやエクセルなどのソフトを活用する研修会を実施し、教職員のICT活用能力の向上を図る。	<p>ソフトを活用する研修会を  A：年3回以上実施  B：年2回実施  C：年1回実施  D：実施しなかった</p> <p>ワードやエクセルなどのソフトを校務等に活用できる教員の割合が  A：7割以上  B：6割以上7割未満  C：5割以上6割未満  D：5割未満</p>	<p>研修会実施回数 1回</p> <p>評価 C</p> <table border="1" data-bbox="1167 379 1348 512"> <thead> <tr> <th></th> <th>ワード</th> <th>エクセル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>A</th> <td>23%</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <th>B</th> <td>59%</td> <td>47%</td> </tr> <tr> <th>C</th> <td>12%</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <th>D</th> <td>6%</td> <td>24%</td> </tr> </tbody> </table> <p>A：十分活用  B：おおむね活用  C：あまり  D：ほとんど不可</p> <p>評価 B</p>		ワード	エクセル	A	23%	17%	B	59%	47%	C	12%	12%	D	6%	24%	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季休業中にワードについての研修会を1回実施した。</li> <li>二学期と三学期にエクセルやパワーポイントなどの研修会の実施を予定していたが、県情報政策課から情報資産管理システム関係の業務が入ったため、実施することができなかった。</li> <li>研修時間が取れる夏季休業中に研修会を行うことが望ましい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワードに関しては、研修会を実施したことや普段から業務に使用することが多いこともあり、8割以上が十分又はおおむね活用できている。しかし、エクセルに関しては十分又はおおむね活用できている教員は65%とワードに比べ少ない。次年度はエクセルについての研修会も行い、エクセルの活用能力向上を図りたい。</li> <li>ワードに関しては6%、エクセルに関しては24%の教員がほとんど活用できていない。次年度は、基本操作だけでなく、決まった形式で簡単に文書が作成できるテンプレートを用いた文書作成など、校務にすぐに活かせるような研修内容を扱いたい。</li> </ul>
	ワード	エクセル																	
A	23%	17%																	
B	59%	47%																	
C	12%	12%																	
D	6%	24%																	
学校関係者評価委員会の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>県情報政策課からの緊急の業務が入ってきたのであれば、やむを得ない面がある。</li> </ul>																		
学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度は校務にすぐに活かせるような実践的な内容になるように工夫して、夏季休業中にエクセルとパワーポイントの研修会を実施する。</li> <li>ワードやエクセルなどのソフトを校務等にほとんど活用できない教員に対しては、校内情報委員会の委員が必要に応じて個別に支援する。</li> </ul>																		